

(百年の礎を築く) - [戦略11] 熊本都市圏の拠点性向上～将来の州都をめざします～

(1)現状と課題		(2)概要					(3)施策体系					(4)県民アンケート結果																																																														
<p>新幹線全線開業や政令指定都市移行により、人・物・情報等の交流が拡大しつつあります。この機を逸することなく、こうした効果を最大化し、県・政令指定都市の連携やハブ機能の強化により県内全域へ波及させるとともに、九州における熊本の拠点性を向上させることが求められています。</p>		<p>熊本の100年の礎を築き上げるため、九州新幹線の全線開業や熊本市の政令指定都市移行の効果を、県内全域に波及させるだけでなく、九州全体の浮揚にもつなげていくことが必要です。そのため、産学官による「くまもと都市戦略会議」などを通して、県・市の政策連携を強化し、相乗効果を最大化します。また、高速交通体系の機能充実など、九州におけるハブ機能を強化し、熊本が九州発展のセッター役の役割を果たすことで、“将来の九州の州都”実現につなげます。</p>					<p>① 州都をめざした取組みの展開</p> <p>施策52 ◆ 州都を構想する ～州都をにらんだ構想づくりの推進～ 【担当部局：企画振興部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2</td> <td>2,855千円</td> <td>H27</td> <td>1</td> <td>1,866千円</td> </tr> </table> <p>施策53 ◆ 拠点性を高める ～熊本型県・政令指定都市政策連携の推進～ 【担当部局：知事公室・企画振興部・商工観光労働部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>5</td> <td>529,920千円</td> <td>H27</td> <td>5</td> <td>756,160千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	2	2,855千円	H27	1	1,866千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	5	529,920千円	H27	5	756,160千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(5位)</p>																																						
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																					
H26	2	2,855千円	H27	1	1,866千円																																																																					
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																					
H26	5	529,920千円	H27	5	756,160千円																																																																					
<p>★戦略指標〔単位〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>策定時</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>i</td> <td>- (H23)</td> <td>5 <+5></td> <td>8 <+8></td> <td>14 <+14></td> <td>毎年度着実に増加を図る 〔項目(累計)〕</td> </tr> <tr> <td>ii</td> <td>279 (H23)</td> <td>285 <95.0%></td> <td>306 <102.0%></td> <td>310 <103.3%></td> <td>300 [万人/年(単年)]</td> </tr> <tr> <td>iii</td> <td>893 (H23推計値)</td> <td>920 <100.0%></td> <td>973 <105.8%></td> <td>992 <107.8%></td> <td>920 [万人/年(単年)]</td> </tr> <tr> <td>iv</td> <td>41.5 (H23)</td> <td>41.5 <83.0%></td> <td>43.1 <86.2%></td> <td>45.4 <90.8%></td> <td>50.0 [% (単年)]</td> </tr> </tbody> </table>			策定時	H24	H25	H26	目標値	i	- (H23)	5 <+5>	8 <+8>	14 <+14>	毎年度着実に増加を図る 〔項目(累計)〕	ii	279 (H23)	285 <95.0%>	306 <102.0%>	310 <103.3%>	300 [万人/年(単年)]	iii	893 (H23推計値)	920 <100.0%>	973 <105.8%>	992 <107.8%>	920 [万人/年(単年)]	iv	41.5 (H23)	41.5 <83.0%>	43.1 <86.2%>	45.4 <90.8%>	50.0 [% (単年)]	<p>② ハブ機能の強化</p> <p>施策54 ◆ 大空港構想を進める ～空港周辺地域のポテンシャルの最大化～ 【担当部局：企画振興部・農林水産部・土木部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10</td> <td>1,673,345千円</td> <td>H27</td> <td>10</td> <td>724,545千円</td> </tr> </table> <p>施策55 ◆ 世界的な熊本駅をめざす ～熊本駅周辺地域の魅力向上～ 【担当部局：企画振興部・土木部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3</td> <td>7,083,407千円</td> <td>H27</td> <td>3</td> <td>4,831,167千円</td> </tr> </table> <p>施策56 ◆ すべての道はくまもとに通じる ～幹線道路ネットワーク等の整備～ 【担当部局：商工観光労働部・土木部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>13</td> <td>8,540,976千円</td> <td>H27</td> <td>13</td> <td>10,225,606千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	10	1,673,345千円	H27	10	724,545千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	3	7,083,407千円	H27	3	4,831,167千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	13	8,540,976千円	H27	13	10,225,606千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(4位)</p>	
	策定時	H24	H25	H26	目標値																																																																					
i	- (H23)	5 <+5>	8 <+8>	14 <+14>	毎年度着実に増加を図る 〔項目(累計)〕																																																																					
ii	279 (H23)	285 <95.0%>	306 <102.0%>	310 <103.3%>	300 [万人/年(単年)]																																																																					
iii	893 (H23推計値)	920 <100.0%>	973 <105.8%>	992 <107.8%>	920 [万人/年(単年)]																																																																					
iv	41.5 (H23)	41.5 <83.0%>	43.1 <86.2%>	45.4 <90.8%>	50.0 [% (単年)]																																																																					
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																					
H26	10	1,673,345千円	H27	10	724,545千円																																																																					
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																					
H26	3	7,083,407千円	H27	3	4,831,167千円																																																																					
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																					
H26	13	8,540,976千円	H27	13	10,225,606千円																																																																					
<p>分析 H25年度は1回開催で3件、H26年度は2回開催したことから6件となった。</p>		<p>分析 熊本～台湾間で定期チャーター便が就航し、過去最大となる199便の国際チャーター便来熊によるインバウンド増加</p>					<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(2位)</p>																																																																			
<p>分析 熊本～台湾間で定期チャーター便が就航し、過去最大となる199便の国際チャーター便来熊によるインバウンド増加</p>		<p>分析 新幹線の利用者増などにより、熊本駅全体の乗降客数が増加した。</p>					<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>(1位)</p>																																																																			
<p>分析 国道57号(立野拡幅・瀬田拡幅 L=2.5km)の供用開始により、整備進捗率が上昇した。</p>																																																																										

No. (5)平成26年度の主な成果	(6)問題点(隘路)・課題	(7)平成27年度の推進方針等
<p>施策52</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県で道州制シンポジウムを開催し、道州制について周知啓発を実施 県内の学生が仮想の州庁舎の設計案を作成し発表する「州都イメージ発表会」を開催し、州都構想について周知を促進 九州地方知事会や「道州制推進知事・指定都市市長連合」により、道州制に関する国への要請活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県民アンケート結果等によると、道州制や州都に対する県民の理解が十分に進んでいないため、様々な機会を捉えた周知啓発が必要 道州制に対する様々な意見があることから、国の動向を見据えつつ、丁寧に議論を進める必要あり 	<ul style="list-style-type: none"> 道州制や州都についての周知啓発を推進 県と熊本市による道州制の共同研究等を実施し、地方の立場からの道州制に向けた議論を深化
<p>施策53</p> <ul style="list-style-type: none"> 県・熊本市が連携し、「熊本の魅力ある路面電車と観光列車」等により、首都圏に向けた広報活動を展開 県・熊本市、熊本大学、経済界が連携し、「くまもとグローバル人材育成戦略」や「農商工連携」「医工連携」のテーマの活動を実施 市町村等と連携しながら、スポーツイベント4件(約4,500人の宿泊)、大型コンサート3件(約30,200人の集客)、映画ロケ4件を誘致 H27年3月に「くまもと移住定住促進戦略推進協議会」を設立し、戦略を踏まえた具体的施策を展開 	<ul style="list-style-type: none"> 県・熊本市が予定している首都圏広報の情報共有を図り、相乗的に効果が上がるよう、実施時期や内容の調整を行うことが必要 現在のテーマ以外の新たな都市戦略について検討し、具体的な取組につなげていく必要あり 施設の充実度、交通アクセスに勝る福岡市の施設と競合するため、効果的なPRを行うなど誘致の強化が必要 県内各地域で移住定住に関する様々な取組が展開されているが、その意識に大きな差が見られる状況 	<ul style="list-style-type: none"> 県と熊本市が連携し、首都圏で行うPR事業を継続して推進 「くまもとグローバル人材育成戦略」を進めていくとともに、新たな連携事業の構築に向けた検討を実施 助成事業を最大限活用し、本県へのスポーツイベント、大型コンサート、映像作品制作の誘致を強化 <u>くまもと移住定住促進戦略を推進するため、協議会で協議、検討等を行い、具体的な移住定住施策を展開</u>
<p>施策54</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾線において、航空会社への3回のトップセールスを行い、H26年10月から定期チャーター便が就航し、H27年4月以降も継続が決定 台湾線のほか、中国福建省を含めて199便のチャーター便が阿蘇くまもと空港に就航 空港ライナーの本格運行に向けた実証実験を実施し、空港利用者の利便性を向上。利用者が年間平均210人/日と着実に増加 崇城大学とエアライン等が協力協定が締結され、パイロット養成機能が強化 阿蘇くまもと空港の防災拠点化に向け、空港南側県有地のエプロンを整備 阿蘇くまもと空港周辺駐車場及び第2空港線沿いの農地法・農振法等法令違反者に対する是正指導を益城町等と実施 年間約87回のパトロールによる違反広告物の設置防止を通じ、H24年度に改善された第2空港沿線の景観を維持 	<ul style="list-style-type: none"> 国際線を利用する県民の7割以上が福岡空港を利用しており、阿蘇くまもと空港の利用促進が必要 阿蘇くまもと空港の更なる拠点性向上に向けて、既存路線の増便や新規路線の誘致活動が必要 今後の空港利用者の増加に対応するため、更に利便性の向上を図る必要 学生増加に伴い訓練飛行の回数が増加することから、天草空港での訓練実施に向け、関係機関との調整を図ることが必要 阿蘇くまもと空港防災エプロンの平時の利活用検討が必要 景観保全を含め、空港周辺及び第2空港線沿いの優良農地を良好な状態で確保・保全していくことが必要 第2空港線沿線の景観保全を図るためには、民間駐車場に対するパトロールの継続が必要 	<ul style="list-style-type: none"> <u>台湾高雄線の定期便化をめざし、定期チャーター便の利用促進を図りながらチャイナエアラインとの協議を実施</u> <u>需要が見込まれる新規路線開設をめざし、航空会社等へのエアポートセールスを実施</u> <u>更なる利便性向上のため、空港ライナーの増便や応援便体制を強化</u> <u>崇城大学の訓練実施による天草空港の利用を促進</u> <u>防災訓練等による阿蘇くまもと空港防災エプロンの利活用を推進するとともに、エプロン隣接地への航空事業者の誘致活動を実施</u> 益城町等と農地の違反開発事案等に対する定期的に是正指導等を実施 違反広告物の設置防止や、良好な景観維持のため、第2空港沿線のパトロール強化を継続
<p>施策55</p> <ul style="list-style-type: none"> 上熊本駅を含む鹿児島本線上下線4kmと熊本駅部上り線2kmの高架切替を完了 H24年度整備済みの石塘の利活用促進のための地元協議会の設置に向け、熊本市で取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> H29年度末の高架化完了に向け、埋蔵文化財調査と狭隘な駅部工事などとの工程調整の推進が必要 今後、個別事業の進捗や成果を踏まえ、くまもと都市戦略会議の中で再度テーマ設定を行うかどうか検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> <u>鹿児島本線熊本駅部下り線2km及び豊肥本線1km区間の高架化工事を推進</u> 熊本市の地元協議会設置に向けた取組等を支援
<p>施策56</p> <ul style="list-style-type: none"> 小池高山IC～(仮称)北中島IC間L=10.8kmのH30年度供用開始に向けて事業を促進 南九州西回り自動車道の芦北IC～(仮称)津奈木IC間(L=7.7km)のH27年度供用開始に向けて事業を促進し、国において着実に推進 国道57号線の南阿蘇村立野～大津町瀬田間(L=2.5km)4車線化の供用を開始 滝室坂道路の早期の全線開通を国に要望し、事業を促進 熊本港の利便性及び認知度向上に取り組み、熊本港におけるコンテナ取扱量が過去最高を更新(熊本港7,838TEU) 熊本都市圏の物流機能強化に向け、熊本港の水深7.5m岸壁取付部の整備を完成し、水深7.5m航路・泊地、土砂処分場等の整備を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備予算の安定的な確保や、道路整備が遅れている地方部に対する重点的な予算配分が必要 芦北地域において国道3号の代替路がなく、交通渋滞は慢性化しており、国に対して早期整備の働きかけが必要 地域経済や観光ネットワークに資する道路であるが、交通渋滞が慢性化しており、国に対して早期整備の働きかけが必要 緊急輸送道路であるが、連続雨量140mmで全線通行止めとなるため、国に対して早期整備の働きかけが必要 熊本港利用にシフトされた大口荷主企業の継続利用や、新規荷主の掘り起こしの強化が必要 熊本都市圏の物流機能を強化するには、海の玄関口である熊本港の港湾機能を保持していく必要があるため、計画的な維持・管理が必要 	<ul style="list-style-type: none"> <u>小池高山IC～(仮称)北中島IC間 L=10.8kmのH30年度供用開始に向けて事業を促進</u> <u>(仮称)津奈木IC～(仮称)水俣IC間 L=5.6kmのH30年度供用開始に向けて事業を促進</u> <u>国道57号4車線化の早期完成に向けて国に働きかけ</u> <u>滝室坂道路の早期の全線開通を国に要望するなど、事業を促進</u> <u>熊本港ポートセールス・ビジョンにおけるコンテナ取扱量の目標達成に向けて、増便・新規航路誘致等による利便性向上や、企業訪問等による認知度向上を推進</u> 熊本港においては、物流機能の強化に向けた航路や防波堤の整備を促進するとともに、港湾機能を保持するために必要な整備を着実に推進